

## < 編集後記 >

今号では、前号からの引き続きの記事である座談会の後半を掲載しました。ネットワーク教育からインターネットの問題点、学術ネットワークの存在意義にまで及ぶ、熱い議論が展開されました。ネットワークに興味がある方もそうでない方も、ご一読いただき、ご意見をくだされば今後のネットワーク構築や運用のお役に立てると思います。

その他、全学メールサービスでの SPAM メール対策や、東大・筑波大・京大のスパコンの共通仕様(いわゆる T2K オープンスパコン)とはいかなるものであるのか、今後発展すると思われる GPU を使った並列計算の方法、あるいは、そもそもスパコンで何ができるのかなど、幅広い記事が掲載されています。名大にどのような情報システムがあるかを知り、より便利な環境を手に入れる機会を提供できればと思います。

さて、記事中にもありましたが、これまでの形態での情報連携基盤センターニュースは一旦終了となります。今後、どのような形態で情報発信をしていくかの詳細は完全には決まっていますが、スパコンとアプリケーションサーバを中心とするシステムの情報を発信する全国共同利用システム版と、学内情報システムの情報を発信する学内版という2種類を発行することになると思います。また、これまでのように紙媒体だけではなく、Web やメールなども活用したものになる予定です。形態は変わるにしても、これまで以上に役に立ち、楽しい情報を発信していきますので、今後ともよろしく願いいたします。

(Y.H.)